

日二十二月四



日刊價シ日報日五... 郵税十五銭一行部二銭... 発行所 平野町大町二丁目三番地

ストーン・ヘッドのスト... トンは石、ヘッドは... 融通のきかぬ化石... 似た様な人間を指す... 石ころのやうになつた... と云ふ場合などに使ふ

に栽培されるもの全額で三十... 三町歩に達し毎年三千四、五... 百貫の価格一萬五、六千圓... と云はれてゐるが假りに自家

用のみだとしても同被害は農... 村にとつて相當の打撃であら... うと語られてゐる

炭鑛から鐵類泥... 石城郡内郷村の綴木宿二瀬... 屋方止宿同郷築輪村の柳小屋... 生れ神野辰藏(五)は本年一月... 頃から居村及び湯本町に於け... る炭鑛のつり捨て場から拾ひ... 炭を装ひつゝ古鐵類及びワイ... ヤーロップを本月二十日まで... に二十九日に亘つて窃取し附... 近の古物商に賣却し居たるこ... と其の筋に發覺檢査されて目... 下取調べ中である

是れも炭鑛荒し... 埼玉縣北足郡野村生れ當... 時石城郡内郷村の綴木宿二... 瀬屋方止宿石坂幸次(三)は去... る三月二十一日から本月十七... 日頃まで居村その他の炭鑛... から古鐵類九件の窃盜あるを... 發覺平野に檢査取調中

やさしい春雨も 花には呪はしい

平公園今日の賑ひを滅茶く 夜來の雨に邪魔されて

早くも五分咲と云はれる平公... 園の櫻花は今日二十日の賑は... ひを豫想されたものに片倉製... 糸従業員四百の觀櫻會を筆頭... とし附近中小炭鑛の數々團體... 及び町内にも新多の小團體宴... を目論まれてゐたが天何ぞ無... 情なる浮き立つ人々の心を酌... ます欲しくもない雨が夜前か...

石城郡には重大問題 入庫米販賣の再検査

農倉關係者今日協議會 五月一日から實施の改正法で

石城郡下に於て農業倉庫を有... つ左記二十ヶ町村では今日二十... 二日午前十時から平町マルト... モホールに會して來る五月一... 日から實施される本縣穀物檢... 査規則第二十七條第六項(改... 正)による入庫米販賣に際し... ての再検査は品質を低下せる... 格下げの場合その損害を何れ... が負ふべきかの問題に關し協... 議を行はれたが右は一旦官廳... の保證する検査格によつて入... 庫證券してゐる事情上再検査... によつて招來する損害を除去... せんとせば今後極めて短期間... とならず外なく斯ては現今漸く... 好成績を見られるに至つた販... 賣(平均賣)統制上に好ましく... ない影響あるなど同郡にとつ

平の清潔法

平町に於ける春季清潔法は來... 月十日十一日の兩日施行の筈

海軍記念日の 講演會

平分會の主催で 平町在郷軍人分會では來る五... 月二十七日の海軍記念日に於... て横須賀海軍鎮守府人事部か...

櫻花盛る公園で 老婆自殺を企つ

夫婦共々の病苦を悲觀して

平町松ヶ岡公園の端に昨二... 十一日午後六時過ぎ物思ひに... 沈んでゐる一人の老婆の行動... が普通でないで警邏中の平... 署員が取調ると町内字仲町... 一八福本長次郎妻ふゆ(五)と... 稱し夫長次郎が喘息のため永... く病床にあるに加へて自分は... 中風に罹り夫婦の間に二人の

石城の農作物雪害 概算して十萬圓余

主に自家用だが全滅的なお茶 農村にとつて相當の打撃

石城郡内に於ける去る冬期間... の降雪(農作物)被害は一ヶ町... 村に於て多きは三、四千圓少... なきもので一千以上と見られ... 概算十萬圓余を唱ひられてゐ... る同被害は山林、竹林、果樹... が梨園の如きは樹の設備不完... 全な部分的に止まり農園樹に

昨日の共販十銭高 米價は當分動かさず

先き行きには強値の豫想 春暖緩み望みなし

石城郡販賣昨二十一日の定期... 米共販は既報の如く八百九... 十二俵の出荷で地方商人二十... 餘名の競争入札あつたが相場... は左記の如く前日に比して一... 俵につき十餘圓の高値であつ... た向は先き行きは春暖の緩み... 値あるを唱ふるものと前二ヶ... 年繼續したる凶作關係から本... 年は從來の例に反して高落二... 様の豫想をされてゐるが米價... は當分現狀維持でないかと觀... 測する向きが多い

平老兵會の 觀櫻會

廿五日松ヶ岡で 平町老兵會は同町軍人關係の... 諸會合に於て常に壯者を凌ぐ... 意氣を見せてゐるが來る二十... 五日午後五時櫻花盛る松ヶ岡... 公園に會員の懇親會を催す筈... で既に出席申込み六十名に達... し同會には會長水澤常松氏を... 初め殊に國家非常時の折柄一... 且緩急あれば人後に落ちたく... ない老へて益々盛んなる元氣... を發揮する由であるから定め

磐女修旅出發

百五十二名の汽... 車賃一千六百圓 縣立磐城高女では四年全生の... 修學旅行を關西方部に向け今... 二十二日午前七時三十二分平... 騾發で百五十二名出發したが... 三割引の汽車賃一人當り十圓... 五十七錢八厘この總額千六百... 圓である

商店の空巢狙ひ

石城郡磐城村の下湯長谷居住... 安達郡下村生れ石川守(三)... は去る三月中旬頃から郡内湯

抄物人 鍋田三善先生の學績(3)

幕末に於ける日本精神及び... 史學の大家 後學 諸根樟一... 室直登先生の「櫻關詩鈔」も... 出た。小林小鶴先生の書には... 接しないが、先生の左記の自... 筆稿本の時價を見た驚かだ... こうした相當面白いものがク... ズ屋のクズ紙の中から出るの... であるから驚く、これも皆古... 流射殺類聚」全七冊一金二... 本機關の不備から無理もない



青果市況

青物 高値 安値
大葱 (百把) 二八〇 一〇〇〇
小葱 (百把) 二四〇 一〇〇〇
油菜 (百把) 二六〇 一〇〇〇
人参 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
牛蒡 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
馬鈴薯 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
根水菜 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
大和芋 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
切芋 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
水菜 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
甲芋 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
地卵 (百把) 二〇〇 一〇〇〇
うど (百把) 二〇〇 一〇〇〇

農業方

甘藷の反收 四千貫 (二)

此の上に塵埃または落葉或は藁などを醗酵材料として厚さ四寸に積み汚水風呂水などを注ぐ、更に前年十二月頃塵埃と土を混じり積みしたる原料土を五寸ぐらゐ積み込み米糠を撒き四五日経過して種藷を入れる種藷は一個の目方百目以上のものを撰び諸頭を一錢銅貨大の切り口に切り捨て一坪に二十五個を平均の間隔に並べ北側のは諸頭を北向きに南側は南向きに七、八分通り懸れる程度に苗床に埋める、藳を積えた上に藁、古俵などで厚さ四、五寸の覆ひをなし抗を利用して屋根形の上覆ひをなし二週間を経て發芽が二寸に伸びた際に覆ひを取り去る、肥料は發芽後三、四回米糠油粕等に草木灰を混ぜたものを藳の間に施す、伸びた藷は一尺位に諸頭から切り取り摘心して切取後二三日貯蔵する、本畑は乾燥地を撰び畦巾は二尺七寸、六月上旬挿苗するが藳のよく成生する女節を地下三分位のところに積込み藷の附近へ青草三四寸位に切つて一掴みづゝふりかけて置く、本畑の施肥は反當り堆肥三百六十貫、米稈十五貫、菜種粕七貫、木灰九貫でこの一部を挿苗後十五日ころ追肥する、挿苗後藷が八九寸に伸びた時に摘心し伸長するに従つて一尺以内の一、二回摘心する藷根の發生を防ぐため麥糠などを畦と畦とに

撒布して置く、藳を貯蔵するには乾燥した貯蔵所を設け砂の中へ藳を埋めて置くのが一番よろしい。(をばり)

油問屋 關内油店
支店 郡山市駅前通 電話長三二二八
支店 茨城県關本駅前 電話長平海七三
支店 油槽出張所 平町四丁目 郵便局前

特約販賣 石油株式会社

お醤油は ヤマフル

醤油味贈 たっぷり正宗 經節食料品

山崎合名會社
電話 本業部 二一七〇番 山崎與三郎

明治生命磐城代理店

春の流行洋品
ワイシャツ ソフトボーシ 新柄ネクタイ
ショール ハンドバツク 晴雨パラソル

ツルヤ 平町四丁目 電一四〇

大森醫院

内科、小兒科
醫學士 大森 勇
平町南町 電話二五八番

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平町大工町 電話五九二番

好評 たる各種優秀藥
カクレー (三十三日分) 定價一圓七角
スピロイン (定價一圓) 定價一圓

特約販賣店 山野邊藥局
平町五丁目

平田町 レストラン サロン 電話三五二

し	づ	か	に
食	事	の	出
る	し	い	食
正	し	い	喫
正	し	い	酒
正	し	い	場

スペイン G.H.N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1.10

西村屋藥舗 (電3)

金屋

質屋 高々 質屋 高々

良品廉價 藥店

平町五丁目 電話三五二

別館落成
新築中の別館も落成致しました、静かなお座敷、氣やかな食堂、共にお客様の御満足を頂けると思ひます。

一の井
電話一六七
平町五丁目(三丁目北裏)

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町南町 電話五二三番
院長 醫學士 高久忠

高久病院

味は 東都一流の食堂にて調製した自信が有ります
量は 自家總動員の經營による大勉強
衛生 食器は調理の度に加熱消毒

改築落成
軒壽福
電話八二番

御家庭の延長に御停車場
御送迎等、是非御利用下さい

目科療診
一、齒科 一般
一、口腔外科
一、レントゲン科

院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西川 誠

平町南町(松月堂向ひ) 電話五〇九番
回 見習看護婦募集 回

二新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します。

平町南町 電話三〇七
會長 濱野キヨ

平看護婦會

御手不足の御家庭
軽い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭
願ひ致します